

十時嚴周先生略歴

- 一九二七年 一月五日 大阪府にて出生
- 一九五二年 三月 慶應義塾大学法学部卒業
- 一九五五年 三月 慶應義塾大学大学院社会学研究科修士課程修了
- 一九五五年 四月 慶應義塾大学法学部副手
- 一九五八年 三月 慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程修了
- 一九五八年 四月 慶應義塾大学法学部助手
- 一九五八年 八月 ハーバード大学訪問研究員として留学（一九五九年七月迄）
- 一九六〇年 九月 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九六六年 三月 社会学博士（慶應義塾大学）
- 一九六六年 四月 慶應義塾大学法学部教授
- 一九六七年 四月 慶應義塾大学大学院法学研究科委員を兼ねる
- 一九六七年一〇月 香港中文大学客員教授（一九六九年五月迄）
- 一九七二年 六月 オーストラリア国立大学上級訪問研究員（同年一一月迄）
- 一九七三年 四月 慶應義塾大学大学院社会学研究科委員を兼ねる
- 一九七八年 四月 慶應義塾大学大学院経営管理研究科委員を兼ねる
- 一九七九年一〇月 慶應義塾大学法学部部長・慶應義塾大学大学院法学研究科委員長・慶應義塾理事を兼ねる

(一九八三年九月迄)

一九八四年 四月

ハーバード大学燕京研究所訪問教授 (同年九月迄)

一九八五～九五年

国際交流基金北京日本学研究センター協力委員

一九八六年 五月

慶應義塾評議員を兼ねる

一九八八年 四月

サンパウロ野球連盟委員 (国際交流基金)

一九八八年 九月

在北京・日本学研究中心 (大学院) 訪問教授 (同年十一月迄)

一九九〇年 三月

パリ国立政治学院訪問教授 (同年七月迄)

一九九二年 三月

慶應義塾を定年退職

一九九二年 四月

慶應義塾大学名誉教授

二〇〇九年十一月六日

逝去

十時嚴周先生主要著作目録

著書（編著・共著を含む）

『産業人類学序説―工業化と文化変容―』

世界書院 一九六六

『アジアの工業化と伝統的社会』（編著）

アジア経済研究所 一九七四

『地球社会への展望・慶應国際シンポジウム』（共著）

日本生産性本部 一九八〇

『大都市圏の拡大と地域変動―神奈川県横須賀市の事例―』（編著）

慶應義塾大学法学研究会叢書四七、慶應通信 一九八九

『リーディングス 日本の社会学』（全二〇巻）（企画委員）

〔企画委員〕 上子武次・北川隆吉・斎藤吉雄・作田啓一・鈴木広・高橋徹・十時嚴周

東京大学出版会 一九八五―一九九七

訳書

ジョン・ギリン編著 『人間科学の展開―社会学、心理学、人類学の交流による―』

武田良三・米山桂三監修、十時嚴周・秋元律郎・他共訳、早稲田大学出版部 一九六一

(*For a Science of Social Man: convergences in anthropology, psychology, sociology, J. Gillin et al., Macmillan, U. S. A., 1954*)

A・ホワイトヒル他著『経営と人間関係―ケース・ブック―』

米山桂三監修、慶應義塾大学産業研究会訳、パトリア書店 一九六〇

(*Cases on Human Relations in Management*, A. M. Whitehill Jr., et al., McGraw-Hill, U. S. A., 1958)

モノグラフ

“Analytical Study in Kujukurihama Research”, in *KYJUKURIHAMA: Study of Fishing Community in Japan*, Kujukuri Research Committee Based on Rockefeller Fund, Keio University, 1958.

論文

- 一 「社会諸科学の統合研究について—Julian H. Steward の理論に関する若干の考察—」
法学研究三〇巻二号 一九五七
- 二 「文化人類学における比較研究の方法について—文化人類学と社会学の交流に関する若干の考察—」
法学研究三〇巻一〇号 一九五七
- 三 「応用人類学の一面—産業研究における応用人類学的視点について—」
社会学評論八巻一号、日本社会学会 一九五七
- 四 「産業社会学における概念図式について—産業社会学方法論に関する若干の考察—」
慶應義塾大学創立百年記念論文集第二部政治学関係、慶應義塾大学法学部 一九五八
- 五 「産業人類学 (Industrial Anthropology) の構成について—産業の応用人類学をめぐる問題—」
社会人類学三巻一号、社会人類学研究会 一九六〇
- 六 “The Case Method and the Science of Human Relations” (in English) 法学研究三三巻八号 一九六〇
- 七 「アクション・アンソロポロジスト」 三色旗一五七号、慶應義塾大学通信教育部 一九六一

- 八 「文化人類学の応用について―文化人類学における研究領域の拡大に関する若干の考察―」
法学研究三五卷二号 一九六二
- 九 「工業化過程における文化動態について―日本工業化過程に関する一試論―」 法学研究三六卷四号 一九六三
- 一〇 「法律学に与える―文化人類学の立場から―」 綜合法学六卷七号、綜合法学刊行会 一九六三
- 一一 「『近代化』ということについて」 三色旗一九一号、慶應義塾大学通信教育部 一九六四
- 一二 「社会意識と経営者意識―経営組織における人間観の問題―」 労務管理一四四号、労務管理研究会 一九六四
- 一三 「近代化の諸過程について―近代化に関する通文化的研究のための作業仮説―」 法学研究三七卷七号 一九六四
- 一四 「社会変動と近代化―近代化論のための基準点の設定―」
慶應義塾大学大学院社会学研究科 一九六六
- 一五 「文化人類学における国民性研究の現状と問題点」
米山桂三博士還暦記念論文集『日本社会と近代化』、慶應通信 一九六七
- 一六 「Cultural Differences: How Much of a Problem”, (working paper), AIESEC: Proceedings, World Conference; International Transfer of Management Skill, 1969.
- 一七 “Industrialization and its Effects on Japanese Society”, *PROSPECT 5* (The Journal of AIESEC International), Spring/1970, Netherlands.
- 一八 “Management Education in Japan: Some Cultural Characteristic of the Historical Development”, *BUSINESS MANAGEMENT* (Journal for efficiency), 1970, India.
- 一九 「経済発展に関連する非経済的要因について―経済人類学と経済発展の社会理論に関する若干の考察」
法学研究四五卷三号 一九七二
- 一〇 “Postwar Japanese society in Transition: Industrialization and Cultural Change”, *KEIO JOURNAL OF POLITICS*, Vol. 1, No. 1, 1974.

- 二一 「社会変動と経済協力—発展途上国の工業化と社会変動—」 法学研究四八卷一一号 一九七五
- 二二 「工業化への『適合と抵抗』」 国際開発ジャーナル九卷一八号、国際開発ジャーナル社 一九七五
- 二三 「文化交流における知識人の役割」、『東南アジアとの対話—文化交流をめぐって—』(基金叢書①) 国際交流基金 一九七七
- (“The Role of Intellectuals in Cultural Exchange”, *DIALOGUE: SOUTHEAST ASIA and JAPAN—symposium on cultural exchange—*, The Japan Foundation, 1977)
- 二四 「組織現象と国際比較—マクロ組織論の構想—」 組織科学一一卷一号、組織学会 一九七七
- 二五 「文化交流と地域圏研究」、『ラテン・アメリカとの対話—文化交流をめぐって—』(基金叢書④) 国際交流基金 一九七九
- (“El intercambio cultural y los estudios por areas”, *DIALOGO: AMERICA LATINA Y JAPON—symposio sobre intercambio cultural—*, The Japan Foundation, 1979)
- 二六 「地域社会研究と地域分析の方法—『横須賀研究』のための方法的検討—」 二藤尊夫共著、法学研究五二卷一二号 一九七九
- 二七 「神奈川県地域構成(上)—『横須賀研究』のための地域分析—」柄澤行雄共著、法学研究五三卷一号 一九八〇
- 二八 「神奈川県地域構成(下)—『横須賀研究』のための地域分析—」柄澤行雄共著、法学研究五三卷二号 一九八〇
- 二九 「横須賀の地域構成—『横須賀研究』のための地域分析—」 田中重好共著、法学研究五三卷三号 一九八〇
- 三〇 「地域社会研究の理論的再検討—横須賀・地域分析の再考—」 二藤尊夫・田中重好・柄澤行雄共著、法学研究五三卷九号 一九八〇
- 三一 「工業主義文明の伝播と地球社会化状況」、『地球社会への展望・慶應国際シンポジウム』 日本生産性本部 一九八〇